

飯豊町立第一小学校改築基本・実施設計業務委託指名型プロポーザル  
審査結果報告書

平成25年5月20日  
飯豊町立第一小学校改築事業提案審査委員会

1. 最優秀者及び次点者

最優秀者：株式会社 本間利雄設計事務所

次点者：株式会社 秦・伊藤設計

2. 技術提案書の提出のあった5設計業者

以下、(五十音順)

(1) 株式会社 秦・伊藤設計

(2) 株式会社 鈴木建築設計事務所

(3) 株式会社 羽田設計事務所

(4) 株式会社 平吹設計事務所

(5) 株式会社 本間利雄設計事務所

3. 飯豊町立第一小学校改築事業提案審査委員会

委員名	役職等	備考
江川 嘉幸	山形県立産業技術短期大学校 建築環境システム科准教授	<委員長> 学識経験者
原 行雄	有限会社はらコーポレーション代表	<副委員長> 学識経験者
横澤 晃	飯豊町立第一小学校建設検討委員会 副会長	住民代表
大村 亨夫	飯豊町立第一小学校長	学校関係者
佐藤 晴樹	飯豊町教育長	行政関係者
遠藤 純雄	飯豊町地域整備課長	行政機関職員

#### 4. 特定までの経緯

- |                |                          |
|----------------|--------------------------|
| 平成25年3月 8日 (金) | 指名業者を選定                  |
|                | ・ 5設計業者をプロポーザルの指名業者に選定   |
| 平成25年3月13日 (水) | 指名通知書を送付                 |
|                | ・ 5設計業者に通知及びプロポーザル要領等を送付 |
| 平成25年3月15日 (金) | 質問回答書の送付                 |
|                | ・ 1設計業者からの3点の質問に回答       |
| 平成25年3月19日 (火) | 参加表明書の提出期限               |
|                | ・ 指名5設計業者すべてから、参加表明書を受理  |
| 平成25年3月22日 (金) | 質問回答書の送付                 |
|                | ・ 4設計業者からの23点の質問に回答      |
| 平成25年3月29日 (金) | 質問回答書の送付                 |
|                | ・ 1設計業者からの2点の質問に回答       |
| 平成25年4月 4日 (木) | 第1回審査委員会を開催              |
|                | ・ 委員委嘱、プロポーザルの説明、評価基準の確認 |
| 平成25年4月 5日 (金) | 評価基準書の送付                 |
|                | ・ 5設計業者に評価基準書及び委員名簿を送付   |
| 平成25年4月25日 (木) | 提案審査委員会の公開について広報掲載       |
|                | ・ 5設計業者とのヒアリングを公開で行う旨を周知 |
| 平成25年4月26日 (金) | 技術提案書の提出期限               |
|                | ・ 指名5設計業者すべてから、技術提案書を受理  |
| 平成25年5月 8日 (水) | 第2回審査委員会を開催              |
|                | ・ 提案内容の確認、ヒアリング日程の確認     |
| 平成25年5月15日 (水) | 第一小学校改築事業提案審査委員会を開催      |
|                | ・ 提案内容のヒアリングを公開形式で実施     |
| 平成25年5月15日 (水) | 第3回審査委員会を開催              |
|                | ・ ヒアリングにより最優秀者及び次点者を決定   |

## 5. 審査経過

### (1) 第1回審査委員会

①日 時：平成25年4月4日（木）15:00～17:00

②場 所：飯豊町役場3階大会議室

③出席者：委員6名、事務局3名

④議 事：（1）委員へ委嘱状交付

○外部の審査委員4名に委嘱状を交付した。

○町内部の審査委員2名は町長の任命で委員に就任した。

（2）委員長、副委員長の選任

○委員の了承を得て、委員長に江川氏を選任した。

○委員長の指名により、副委員長に原氏が就任した。

（3）飯豊町立第一小学校改築基本・実施設計業務委託指名型プロポーザル実施要領

○事務局からプロポーザル実施要領の内容について、改築の規模や基本構想の概要、設計業者選定の方法やスケジュール等、指名業者に通知した内容について説明した。

○プロポーザルにより決定した最優秀者の提案内容については、コスト面やエコへの取り組み、主たる熱源の検討などにより、設計段階で変更となる旨を説明した。

○参加を表明している5設計業者を提示した。

（4）飯豊町立第一小学校改築事業評価基準（案）

○事務局から評価基準（案）について、内容を説明した。

○100点満点の採点方式で、各委員の合計点数の平均値により順位付けを行うことと決定した。

○プロポーザルとはいえ、技術提案及び平面図・立面図までも求めた、コンペティションに近い形のプロポーザルとなっていることから、点数配分についてもそれらに重きを置いた配分とすることで決定した。

○学識経験者の持ち点を高くする案について協議した結果、基本構想に関わった者、学校現場の者、発注管理する立場の者などの視点も重要であるとの見解から、各審査員の持ち点には差を付けずに採点することと決定した。

○参加表明書により自動的に採点できる部分については、次回審査委員会までに事務局で採点を行い、案として提示することとしたが、担当技術者の実績及び受賞歴については、次回検討委員会にて協議のうえ採点を行うことと決定した。

○評価項目について、木材の利用についての評価を盛り込むべきとして、一部項目の修正を行うこととした。

（5）評価基準及び審査委員の公表

○事務局から、指名業者側から評価基準と審査委員の構成につい

て、公表を求められていることを説明した。

○指名業者に対し、評価基準と審査委員の構成を開示すべきと決定した。

(6) ヒアリング当日の予定

○事務局から、1業者あたり1時間のサイクルでヒアリングを実施したい旨を説明した。

○設計業者からの提案説明20分、質疑応答20分、審査委員の採点10分、休憩10分で行うことと決定した。

○午前に2者、午後に3者のヒアリングを行い、順番は技術提案書の到着順に実施することとし、業者名を伏せて行うこととした。

○質疑応答での質問事項については、技術提案書の郵送が届いた時点で、各委員が検討し、次回審査委員会に持ち寄ることと決定した。

(7) 今後のスケジュール

○4月26日を期限としている技術提案書について、即日、審査委員各位に事前発送する旨を確認した。

○公開ヒアリングの前に、もう一度審査委員会を開催することと決定した。

(2) 第2回審査委員会

①日 時：平成25年5月8日（水）13:30～17:45

②場 所：飯豊町役場3階大会議室

③出席者：委員5名、事務局3名

④議 事：(1) 評価基準書(1)～(2)の採点

○事務局から、(1)の事務所の能力については人数や実績件数により採点できたが、(2)の担当技術者の実績及び受賞歴については、協議により決定いただきたい旨を説明し、採点を依頼した。

○業務実績及び受賞歴の中で、小学校に係る設計実績を重視すべきとの見解に基づきながら、客観的な根拠についても考慮しながら採点を行い、評価基準書の(1)～(2)の部分について点数を決定した。

(2) 技術提案に係る質疑事項等の検討

○事務局から、各設計業者からの技術提案書について疑問点などを整理いただき、ヒアリング当日の質疑応答に備えたい旨を説明した。

○各設計業者ごとに、各委員から意見を述べ、主に下記の事柄を質問したい事項として整理した。

- ・ 体育館一体の場合の騒音・振動の心配
- ・ 無散水消雪のコストと稼働時間

- ・ペレットボイラーのコストと暖房効率
- ・西側駐車場の冬期間の雪だまりの心配
- ・ピロティを盛り込んでいるか否かの判断
- ・プールの位置
- ・風の流れへの配慮
- ・昇降口近くの多目的ホールの寒さ対策
- ・広すぎる芝生広場の活用法
- ・地域開放時の管理方法
- ・各室配置についての考え方
- ・職員室の配置と構造
- ・体育館を地域の町民ホールとして活用する提案
- ・主となる熱源とサブとなる熱源についての考え方

○上記を参考に、当日の質疑応答では、それぞれの立場や関わる分野（環境分野、仮設と建設の技術的な面、地域や保護者からの視点、学校での生活や使い勝手の面、雪対策やコストの面、その他学校現場全般に関わる視点など）を中心にそれぞれ質問を行うことと決定した。

○当日は、採点時間が限られることから、各委員が事前に仮採点を行ったうえでヒアリングに臨むことを確認した。

### (3) 当日の会場・スケジュール

○事務局から、当日の会場レイアウト、準備物、時間配分、会場入室制限などについて提案した。

○提案の順番によって公平性が損なわれることを危惧し、提案者及び提案業者関係者の傍聴を認めないことと決定した。

### (4) 今後のスケジュール

○事務局から、ヒアリングを行う15日に最優秀者を決定した後、20日に町長へ答申を行う予定である旨を説明した。

○また15日の最優秀者決定後、20日の答申が完了するまでは、審査委員から審査結果を公表することのないよう確認した。

○技術提案書は、事業所番号①～⑤を割り振り、社名がないことを確認のうえ4月26日に各委員に事前送付した。

### (3) 第3回審査委員会（ヒアリング実施）

①日 時：平成25年5月15日（水）

②場 所：町民総合センター「あ～す」2階研修室及び会議室

③出席者：委員6名、事務局3名、5設計業者、一般傍聴者15名

④議 事：（1）5設計業者を対象としたヒアリング（9:00～15:15）

○技術提案書の提出のあった5設計業者に対し、提案内容について公開ヒアリングを実施した。

○公平公正を確保するため、設計業者（具体的な会社名）を特定できぬよう特に留意してヒアリングを実施した。技術提案書に

は、事業者番号①～⑤を割り振り、社名がないことを十分確認してから各委員に事前送付した。

- 設計業者はヒアリング会場に名札等を外して入室し、具体的な社名の発言及び投影データへの社名の記載は厳禁である旨を通知した。また、一般傍聴者への資料配布は行わず、投影データのみにより説明を行うよう注意を促すとともに、提案する設計業者の社員については一般傍聴を不可とし、他社との情報交換も厳禁であることを通知したうえでヒアリングを実施した。
- 一般傍聴者へは写真撮影、ビデオ撮影、音声録音は禁止とする旨を告げるとともに、提案内容をそのまま改築設計としていくものではなく、設計協議において変更となる旨を周知した。
- 各設計業者とも、提出した技術提案書のデータを保存したノートパソコンを持ち込み、プロジェクターにより投影しながら説明を行った。
- 設計業者から提案内容説明を20分間行った後、審査委員との質疑応答を20分間行った。審査委員6名が順次1人ずつ質問を行った。

(2) 最優秀者と次点者の選定（15:15～17:30）

- 各審査委員から採点用紙を回収し、採点結果を集計した。
- 採点結果を審査委員に告げ、評価合計点の高い順に最優秀者と次点者を選定した。
- 各審査委員が審査結果と内容について感想を述べ、審査結果を確定した。

## 6. 講評

当審査委員会の役割は、これまで、第一小学校改築検討委員会及び第一小学校建設検討委員会による、度重なる協議の結果策定された基本構想を実現するための、高度な創造力・技術力及び設計実績と共に、町民・行政と協調性を持って基本設計・実施設計を完遂する能力と意欲を十分に有する設計者（パートナー）を選定することであり、審査委員は、プロポーザル参加者の提案を多様な観点から総合的に評価するために、学識経験者、住民代表者、学校関係代表者、教育委員代表者、行政機関建設担当で組織された。

審査委員会は、公平性・透明性を図るため、審査中は提案者を匿名とし、5月8日に書類審査、5月15日に公開ヒアリング審査を行い、提案者の業務の実施方針及び特色、基本構想に対する技術提案内容について、各委員の視点で慎重に評価した。

各提案者からは、新校舎建設中の既存体育館利用やグラウンド拡張等を考慮したゾーニング計画・仮設計画という制約のもと、基本構想にまとめられたコンセプトに沿いながら、各者の小学校建築に対する設計理念をもとに、独自の創意工夫が盛り込まれた提案が寄せられた。

公開ヒアリング審査後、審査委員会で定めた評価基準書に基づき、厳正な審査を行った結果、最優秀者に株式会社本間利雄設計事務所、次点者に株式会社 秦・伊藤設計が選定された。上位2者は僅差であったが、最優秀案は、建物形状を敷地の冬期の強い季節風に配慮し、西側に背を向けて風を受け流す流線形の建物形状を提案した点、暖房方式について、イニシャルコストやランニングコストを具体的に検討した上で木質ペレット方式を提案した点、グラウンドの排水対策が提案に盛り込まれている点が高く評価された。

最後に、今回の第一小学校改築事業プロポーザル参加各者に対し、短い応募期間にもかかわらず、熱意のこもった積極的な提案をいただいたことに審査員一同心から敬意と感謝を表したい。